



根こぶ病 対策編



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

被害作物：キャベツ、ブロッコリーなどのアブラナ科作物

被害：根部に大小さまざまな【こぶ】が多数形成され、最終的に腐敗する。地上部は生育が衰え、葉色が淡くなったり、萎れる。早くからの発病では、枯死したり、結球しないなどの被害が出る。

病原菌： *Plasmodiophora brassicae* (原生生物)

発生条件：気温・地温が18～25度で発病が多くなる。被害根の休眠胞子が土壌中に数年間存在し土壌伝染する。pH6.0以下の酸性土壌で多発する。排水不良で多湿な圃場でも多発する。

防除

- ・土壌消毒剤による殺菌。
- ・アブラナ科作物の連作を避ける。
- ・排水性の改善、高畝栽培の実施。
- ・石灰資材を使用しpHを7.2以上に矯正。
- ・抵抗性品種の利用。
- ・事前におとり作物を利用する。



根こぶ病発生圃場 キャベツ 根こぶ病



定植前の土壌消毒をしっかりと行い、農薬だけでなく**総合的に防除**を行い菌密度を下げるようにしましょう！

根こぶ病対策おすすめ薬剤

※キャベツ登録一部抜粋

オラクル 粉剤

- 30kg/10a 1回
- 定植前 全面土壌混和
- 20kg/10a 1回
- 定植前 作条土壌混和



ネビジン 粉剤

- 20～30kg/10a 1回
- は種又は定植前 全面土壌混和
- 20kg/10a 1回
- は種又は定植前 作条土壌混和



フロンサイド 粉剤

- 30～40kg/10a 1回
- は種又は定植前 全面土壌混和
- 15～20kg/10a 1回
- は種又は定植前 作条土壌混和

